

皆さん、おはようございます。一言ごあいさつを申し上げたいと思います。

本日は、出雲市・斐川町合併協定調印式を挙行いたしましたところ、大変お忙しい中にもかかわらず、溝口島根県知事様、小室衆議院議員様、出雲市、斐川町選出の県議会議員の皆様方、両市町の議会議員の皆様方、そして、このたびの合併協議にご尽力をいただきました出雲市・斐川町合併協議会委員の皆様方をはじめ、多くの関係者の皆様方のご臨席のもと、また両市町の住民の皆様にご臨席をいただいたうえで、この調印式を盛大に開催できましたことを、まずもって厚くお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

ただいま皆様方、ご覧いただきましたように、両市町の合併協定書の調印を無事終えることができました。ご列席の皆様方をはじめ、両市町の住民の皆様方の多大なるご支援とご協力の賜物と、心から感謝を申し上げたいと思います。

先ほど、経過報告の中で縷々申しあげましたが、平成13年に始まった斐川町と出雲市の合併協議、実に10年の期間がございました。その間いろいろございましたが、最終的にこの5月、斐川町の住民の皆さんの直接請求による合併協議会の立ち上げという形で、5月から合併協議会で本格的な協議を開始したところでございます。

この協議会にあたっては、「対等な立場」、「互譲の精神」のもとに、お互い譲るべきところは譲り、また互いの立場を尊重しあった真摯な協議を進めてまいりました。

その結果、8月25日の最終の協議会において、合併項目の25項目、すべてにおいて合意に達することができました。これもひとえに関係の皆様、とりわけ合併協議会の委員の皆様方の多大なご努力の賜物と、改めて厚く感謝を申し上げます。

この出雲市と斐川町は、長い歴史と文化、伝統を共有する地域でございます。同じ簸川郡の中で、この二つのまちが、今まで支えあってきてまいりましたが、この合併を契機にひとつのまちとして、お互いの魅力とそしてそれぞれの持つ資源を最大限に活用し、新しい一つのまちとして大きな力を発揮できる、そういう新しいまちを創っていこうという意味合いのもとに、今回の合併協議を重ねてまいりました。

この後、斐川町におかれましては、最終的に合併の可否をめぐって住民投票が実施されると伺っておりますが、どうか、斐川町の皆様方の、長い歴史をふまえた、そしてこの先将来を展望した、的確なご判断を賜りますよう改めて心からお願いを申し上げたいと思います。

私自身にとりましても、この出雲市と斐川町の合併というのは、私に課せられた歴史的使命の一つだという思いで取り組んでまいりました。

ぜひ皆様方と共に、最終的な合併という目標に到達できるように、さらに本

日ご出席の皆様方の厚いご支援とあたたかいご理解を賜りたいと、心から願う
ものでございます。

本日、たくさんの皆様に、ご参会いただきましたことを、改めて心から感謝
を申しあげ、先ほど申しあげましたように、この出雲市と斐川町が一つの新しい
まちとして出発できる日が実現できますことを心からお願い申しあげ、どう
かみなさま方のご支援を重ねて願い申しあげまして、協議会を代表してのご挨拶
とさせていただきます。

本日は、誠にありがとうございました。